

2025年度

第2四半期決算

期間：2025年1月1日～3月31日

2025年5月15日、ドイツ・ミュンヘン

好調な第2四半期 - 見通しを据え置き

「受注、売上、純利益がすべて明らかに増加し、今四半期も好調に推移しました。お客様は引き続き当社のテクノロジーを信頼しており、当社グローバルな事業展開はその回復力を示しています。ONE Tech Companyプログラムでは、テクノロジーの拡大に向けて大きな動きをしています。Altairの買収と計画されているDotmaticsの買収は、お客様に新しいAI製品をもたらし、ライフサイエンスなどの成長市場における新たな機会を切り開くでしょう。」とシーメンスAG代表取締役社長兼CEO ローランド・ブッシュは述べています。

「厳格な執行に注力することで、私たちは再び明らかな売上成長を堅調な利益と堅調なフリーキャッシュフローに変えることに成功しました。第2四半期が終了する直前に、Altairの買収を非常に迅速に成功裏に完了しました。2025年度の見通しを確認しました。」と、シーメンスAG CFOのラルフ・P・トーマスは述べています。

- ・ 第2四半期の受注額は前年同期比10%増の216億ユーロ、売上高は7%増の198億ユーロ、荷額に対する受注額の比率（以下、BBレシオ）は1.10
- ・ 比較可能ベースでは、通貨換算とポートフォリオの影響を除くと、受注は9%増、収益は6%増
- ・ インダストリービジネスの利益は、堅調な事業遂行により29%急増の32億ユーロ、スマートインフラストラクチャーの事業からの撤退による3億ユーロの利益の恩恵を受けました。インダストリービジネスの利益率は16.9%
- ・ 純利益は11%増の24億ユーロ、対応する基本1株当たり利益（EPS）は2.86ユーロ、購入価格配分会計前のEPS（PPAあたりのEPS）は3.00
- ・ フリーキャッシュフロー（継続事業と非継続事業）は10億ユーロ
- ・ シーメンスのONE Tech Companyプログラムの主なマイルストーンには、2025年3月に産業用シミュレーションおよび分析市場におけるソフトウェアプロバイダーであるAltair Engineering Inc.（以下Altair）の95億ユーロでの買収が完了、2025年4月にライフサイエンス研究開発ソフトウェアのプロバイダーであるInsightful Science Holdings, LLC（以下、Dotmatics）を51億米ドルで買収する契約が締結されたことが挙げられます。（取引の完了には慣習的な条件に左右され、2026年度の上半期に完了する予定です）

SIEMENS

シーメンス

(単位：100万ユーロ)	第2四半期		増減%	
	2025年度	2024年度	実績	比較
受注	21,643	19,701	10%	9%
売上	19,757	18,474	7%	6%
利益 (Adjusted EBITA)				
インダストリービジネス	3,239	2,513	29%	
内：退職手当	(53)	(56)		
利益率 (Adjusted EBITA)				
インダストリービジネス	16.9%	14.0%		
退職手当を除く	17.2%	14.3%		
継続事業からの利益				
	2,441	2,004	22%	
内：退職手当	(90)	(69)		
非継続事業からの利益、 (税控除後)	(1)	192	n/a	
純利益	2,439	2,196	11%	
基本1株あたり利益 (単位：ユーロ)	2.86	2.73	10%	
PPA前のEPS (単位：ユーロ)	3.00	2.73	10%	
フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業)	1,003	1,344	(25)%	
キャッシュ・ コンバージョン・レート	0.41	0.61	(33)%	
ROCE (継続事業と非継続事業)	16.9%	19.0%		

- 明確な受注成長には、モビリティとシーメンスヘルスケアにおける二桁の増加が含まれ、一方、デジタルインダストリーズは前年同期並みの水準に達しました。スマートインフラストラクチャーは、60億ユーロの堅調な受注額で、2024年度第2四半期をわずかに下回りました
- インダストリービジネスほぼ全てで収益が増加。特にモビリティとスマートインフラストラクチャーで大幅な増加が見られ、デジタルインダストリーズは緩やかに減少
- 通貨換算による影響は、受注と売上の伸びをそれぞれ1%増加させたが、ポートフォリオ取引による影響は最小限にとどまりました
- インダストリービジネスの利益は大幅に成長し、特にスマートインフラストラクチャーが大幅な増加を牽引しました。スマートインフラストラクチャーは、事業撤退による3億ユーロの利益も寄与し、引き続き好調な業績を達成しました。また、Siemens Healthineersの利益も大幅に増加しました
- インダストリービジネス以外では、シーメンスファイナンシャルサービスの税引き前利益は、株式投資の売却による2億ユーロの利益により大幅に増加しました
- 純利益は主にインダストリービジネスの利益増が牽引し、増加しました。2024年度第2四半期には、法人所得税引当金の戻し入れが所得税費用の減少と非継続事業からの利益につながりました。
- インダストリービジネスからのフリーキャッシュフローは、前年同期の21億ユーロの水準を維持、最大の貢献はスマートインフラストラクチャーによるものでした。インダストリービジネス以外でのキャッシュアウトフローの増加は、主に税金の支払いの増加によるものです。
- フリーキャッシュフローに含まれない支払いには、Altairの買収に関連する87億ユーロ（取得した現金を差し引いたもの）のキャッシュアウトフロー、シーメンス・エナジーAGの6%の株式の売却による24億ユーロのキャッシュインフロー、およびSiemens Healthineers AGの2%の株式の売却による14億ユーロのキャッシュインフロー（2025年3月31日時点でシーメンスが保有する残りの株式：シーメンスの73%）が含まれていました。Siemens Healthineers AGおよびシーメンス・エナジーAGの11%）
- 2025年3月31日時点の年金および同様の債務引当金は、8億ユーロと過去最低水準にまで減少しました（2024年12月31日時点：9億ユーロ）
- 純利益の増加が、Altairの買収による平均資本の大幅な増加によって相殺されたため、使用資本利益率（ROCE）は低下しました

【参考資料】

本資料はシーメンス AG（ドイツ、ミュンヘン）が 2025 年 5 月 15 日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に抄訳したものです。本資料の正式言語はドイツ語および英語であり、その内容および解釈についてはドイツ語、英語が優先します。原文プレスリリースおよび関連資料は以下の URL よりご覧いただけます（英文）。

<https://press.siemens.com/global/en/pressrelease/earnings-release-and-financial-results-q2-fy-2025>